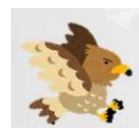


2021 FALCon 高校生国際会議@Mishima

Crisis に負けない持続可能な社会づくりを目指して ～ SDGs の視点からの多面的なアプローチ ～

9月17日(金)から19日(日)まで2021 FALCon 高校生国際会議(拠点校:静岡県立三島北高等学校)が開催され、東高2年生の1班4名(木場春賀さん・岩崎史佳さん・溝口花恋さん・伊東香乃さん)がオンラインで参加し英語によるプレゼン発表等を行いました。1年生4名もオブザーバーとして参加しました。

- 17日(金) 開会式 基調英語講演(常葉大学外国語学部 Hourdequin Peter 准教授)
- 18日(土) 探究活動における課題研究成果の英語プレゼンと専門家からのフィードバック
混成分科会ディスカッション 専門家によるミニ講義
- 19日(日) 会議の成果の動画を作成 成果動画の上映会 閉会式・記念写真撮影



FALCon は「ふじのくにアドバンスド・ラーニング・コンソーシアム」の頭文字を繋げたもので、三島北高校は長崎東高校と同じく WWL コンソーシアム構築支援事業の拠点校に指定されています。会議には、海外4か国(シンガポール・アメリカ・韓国・オーストラリア)5校、国内連携校5校の高校生約50名が参加しており、SDGsの視点から世界の諸問題を相互に理解し合い、グローバル課題について分析・解決する能力を涵養するものでした。全般的に生徒の主体的な活動が多く、全て英語で活発に意見交換が行われました。

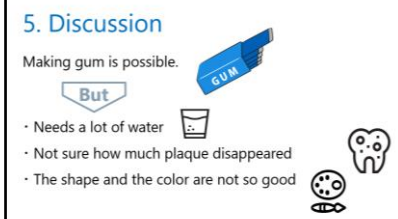
東高の研究テーマは「Can gum with Xylitol improve oral hygiene in developing countries?」。発表の要旨は次のとおりです。(勿論、発表や質疑応答は全て英語)

「一度の歯磨きで6Lもの水を使うと言われており、水不足の発展途上国では多量の水確保は難しい。よって、水を使わずに口腔衛生を維持する方法としてガムを提案する。ガムを噛むことで唾液の分泌量が増え、その唾液が虫歯から歯を守る。途上国の人々がガムを飲み込む危険性があるので、ガムは小麦粉で作り、ミュータンス菌等の繁殖を抑えるキシリトールを加える。→ガムの作成(実験)、実験結果の検証、市販のキシリトールガムとの効果の比較… 今後の課題は、1. ガム作成で多くの水を使用したので減らすこと 2. 実験結果を数値化やグラフ化をすることで科学的な分析を目指す等」

東高の発表は、会議のテーマに沿ったSDGsの視点から多角的な分析と探究的な考察を重ねたものであり、わかりやすい取り組みでした。専門家からも研究内容やプレゼン能力が高く評価されていました。

最後に、班のリーダー・木場さんの感想は、

「私たちは探究活動で取り組んでいる研究を発表して、多くの課題が見つかりました。参加者から貴重なご意見を伺い、専門家の方からは具体的なアドバイスをいただくことができたので、それらを一つ一つ解決してより良い研究になるよう頑張ります。また、プレゼン力や英語力も向上させたいと思います。海外の国の現状や問題点、それに対する解決策について現地の高校生と話し合うことで視野が広まり、私たちの未来について真剣に考えて危機意識を強くもつようになったことも収穫でした。個人的には、ネイティブの英語の発音は流暢で聞きやすかったです。動画を上手く作成できたことも自信になりました。」



①開会宣言ムービー



②東高のプレゼン発表



③他校のプレゼン視聴



④混成分科会

